

平成27年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名： 道路課 )

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金) 一般県道 松尾湯の原線 (小副川工区)</p>
<p>継続理由</p>	<p>小学校周辺の道路であるが、車道が狭小なうえに歩道が整備されていないことから、交通の円滑化に加え通学路の安全性向上のため、事業を継続したい。</p>
<p>B/Cの 算出方法</p>	<p>【 便益 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間短縮便益 = 10.0 億円</li> <li>・ 走行経費減少便益 = 3.2 億円</li> <li>・ 交通事故減少便益 = 2.4 億円</li> <li>合計 = 15.6 億円</li> </ul> <p>【 費用 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業費 = 13.1 億円</li> <li>・ 維持修繕費 = 0.4 億円</li> <li>合計 = 13.5 億円</li> </ul> <p>費用便益 B/C = 15.6 / 13.5 = 1.2</p> <p>※基準年における現在価値</p>
<p>備考</p>	

平成 27 年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)	備考
	<p>道路整備交付金事業(社会資本整備総合交付金)</p> <p>一般県道 松尾湯の原線</p> <p>事業主体： 県</p> <p>事業地： 佐賀市富士町小副川</p>	<p>本路線は、佐賀市三瀬村の国道263号と、熊の川温泉で有名な佐賀市富士町上熊川の国道323号とを結ぶ道路である。</p> <p>本路線は、集落内を通り、周辺には小学校がある道路であるが、1車線で車道が狭小なうえに歩道が整備されていない。</p> <p>このため、一般車両の通行に支障があるだけでなく、児童の通学時においても非常に危険な状態となっている。</p> <p>以上のことから、バイパス(歩道含む)の整備により交通の円滑化と交通安全を図る。</p>	<p>全体事業費：11.8億円</p> <p>工期：H18～H30</p> <p>事業内容</p> <p>延長 L=525m</p> <p>幅員 W=10.0(6.0)m</p> <p>改良工 L=525m</p> <p>橋梁工 N=3橋 (新小関橋、新神園橋、神園橋)</p> <p>舗装工 L=525m</p> <p>測定 1式</p> <p>用地補償 1式</p>	<p>H26末進捗率：約77% (事業費ベース)</p> <p>(年平均進捗率 9%)</p> <p>○用地補償契約は約99%完了 (残り1筆)</p>	<p>平成25年度に富士南小学校が富士南小学校(現在の佐賀市立小中一貫校富士校の小学部)に統合されたことで、本路線を利用して通学する児童数が増加している。</p> <p>また、周辺には古湯温泉、熊の川温泉、平成24年4月に管理開始した嘉瀬川ダム(富士しゃくなげ湖)などがあり、本路線は富士・三瀬周辺の観光拠点の周遊ルートの一つとなっている。</p>	<p>事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。</p> <p>B/C=1.2</p>	<p>(コスト削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生資源の利用促進を図っている。</li> <li>工事で発生する残土を盛土として流用する。</li> </ul> <p>(代替案の検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	<p>事業採択後10年経過のため再評価</p>	<p>継続</p> <p>(理由)</p> <p>小学校周辺の道路であるが、車道が狭小なうえに歩道が整備されていないため、交通の円滑化に加え通学路の安全性向上のため、事業を継続したい。</p>	

